

評価の観点と評価規準 2年上

単元	小単元	観点別学習状況の評価規準			
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
わくわく算数学しゅう	A	算数の学習の仕方を深く理解し、手際よく整理することができる。	図、式、ことばなどを関連づけて考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	算数の学習の仕方に関心を持ち、進んで学習の仕方を学ぼうとしている。	
	B	算数の学習の仕方を理解し、整理することができる。	図、式、ことばなどを関連づけて考えたり説明したりしている。	算数の学習の仕方に関心を持ち、学習の仕方を学ぼうとしている。	
1 ひょうとグラフ	A	表や●のグラフの特徴とよみ方、かき方を深く理解し、手際よく表や●のグラフで表すことができる。	同じ遊びが好きな人数を分類し、表やグラフに整理することを考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	好きな遊びを進んで調べて、表や●のグラフに表そうとしている。	
	B	表や●のグラフの特徴とよみ方、かき方を理解し、表や●のグラフで表すことができる。	同じ遊びが好きな人数を分類し、表やグラフに整理することを考えたり説明したりしている。	好きな遊びを調べて、表や●のグラフに表そうとしている。	
2 時ごとと時間	A	時刻や時間のよみ方がわかり、1時間=60分、1日=24時間を深く理解し、時計をみて、手際よく時間や時刻をよむことができる。	長い針が1目盛り動く時間が1分であることから、時刻や時間を考え、その特徴に触れながら説明している。	時刻・時間に関心を持ち、生活と関連づけながら、進んで時刻や時間を調べようとしている。	
	B	時刻や時間のよみ方がわかり、1時間=60分、1日=24時間を理解し、時計をみて、着実に時間や時刻をよむことができる。	長い針が1目盛り動く時間が1分であることから、時刻や時間を考えたり説明したりしている。	時刻・時間に関心を持ち、生活と関連づけながら、時刻・時間について調べようとしている。	
3 たし算とひき算	①たし算	A	暗算のたし算の仕方を深く理解し、(2位数)+(1位数)を手際よく暗算でできる。	(2位数)+(1位数)の暗算の仕方を工夫して考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	簡単なたし算を、進んで暗算でしようとしている。
		B	暗算のたし算の仕方を理解し、(2位数)+(1位数)を暗算でできる。	(2位数)+(1位数)の暗算の仕方を考えたり説明したりしている。	簡単なたし算を、暗算でしようとしている。
	②ひき算	A	暗算のひき算の仕方を深く理解し、(2位数)-(1位数)を手際よく暗算でできる。	(2位数)-(1位数)の暗算の仕方を工夫して考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	簡単なひき算を、進んで暗算でしようとしている。
		B	暗算のひき算の仕方を理解し、(2位数)-(1位数)を暗算でできる。	(2位数)-(1位数)の暗算の仕方を考えたり説明したりしている。	簡単なひき算を、暗算でしようとしている。
4 長さ	A	測定の意味、普遍単位(cm, mm)、直線の意味を深く理解し、手際よくものさしを使って身近なものの長さを測定したり、長さの簡単な計算をしたりできる。	長さを比べる活動を通して、普遍単位の必要性や測定の仕方について考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	長さの普遍単位のよさに気づき、進んでものさしを使って長さを測定しようとしている。	
	B	測定の意味、普遍単位(cm, mm)、直線の意味を理解し、ものさしを使って身近なものの長さを測定したり、長さの簡単な計算をしたりできる。	長さを比べる活動を通して、普遍単位の必要性や測定の仕方について考えたり説明したりしている。	長さの普遍単位を知り、ものさしを使って長さを測定しようとしている。	

単元	小単元	観 点 別 学 習 状 況 の 評 価 規 準			
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
5 たし算とひき算のひっ算(1)	①たし算	A	たし算の筆算の仕方や答えの確かめ方を深く理解し、手際よく筆算をした後、加法の交換法則を使って答えの確かめができる。	たし算の筆算の仕方を十進位取り記数法に基づいて考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	たし算の筆算のよさに気づき、進んで筆算を活用し、その答えを確かめようとしている。
		B	たし算の筆算の仕方や答えの確かめ方を理解し、筆算をした後、加法の交換法則を使って答えの確かめができる。	たし算の筆算の仕方を十進位取り記数法に基づいて考えたり説明したりしている。	たし算の筆算のよさに気づき、筆算を計算し、答えを確かめようとしている。
	②ひき算	A	ひき算の筆算の仕方や答えの確かめ方を深く理解し、手際よく筆算した後、たし算を使って答えの確かめができる。	ひき算の筆算の仕方を十進位取り記数法に基づいて考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	ひき算の筆算のよさに気づき、進んで筆算を活用し、その答えを確かめようとしている。
		B	ひき算の筆算の仕方や答えの確かめ方を理解し、筆算をした後、たし算を使って答えの確かめができる。	ひき算の筆算の仕方を十進位取り記数法に基づいて考えたり説明したりしている。	ひき算の筆算のよさに気づき、筆算を計算し、答えを確かめようとしている。
思 図 を つ か っ て 考 え よ う (1)		A	テープ図のよみ方やかき方を深く理解し、手際よく問題に合ったテープ図をかくことができる。	数図ブロックをテープ図に書いて考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	加減の数量関係を、進んで図を使って表そうとしている。
		B	テープ図のよみ方やかき方を理解し、問題に合ったテープ図をかくことができる。	数図ブロックをテープ図に置き換えて考えたり説明したりしている。	加減の数量関係を、図を使って表そうとしている。
6 100をこえる数	①100をこえる数	A	1000までの数の表し方、十進位取り記数法の仕組み、数系列を深く理解し、手際よく1000までの数を数字でかいいたり、数直線に表したり、大小比較したりできる。	十進位取り記数法をに基づいて、100をこえる数の表し方や大小を考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	100をこえる数について、進んで10や100ずつまとめて考えようとしている。
		B	1000までの数の表し方、十進位取り記数法の仕組み、数系列を理解し、1000までの数を数字でかいいたり、数直線に表したり、大小比較したりできる。	十進位取り記数法に基づいて、100をこえる数の表し方や大小を考えたり説明したりしている。	100をこえる数について、10や100ずつまとめて考えようとしている。
	②たし算とひき算	A	数の相対的な見方に基づく加減計算の仕方を深く理解し、手際よく何十、何百のたし算、ひき算ができる。	10や100を単位とする基数同士に着目して加減計算を考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	進んで何十、何百のたし算、ひき算をしようとしている。
		B	数の相対的な見方に基づく加減計算の仕方を理解し、何十、何百のたし算、ひき算ができる。	十円玉などの模型を使って加減計算の仕方を考えたり説明したりしている。	何十、何百のたし算、ひき算をしようとしている。
7 かさ		A	測定の意味、普遍単位(L, dL, mL)の意味を深く理解し、手際よくますを使って身近なもののかさを測定したり、かさの簡単な計算をしたりできる。	かさを比べる活動を通して、普遍単位の必要性や測定の仕方について考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	かさの普遍単位のよさに気づき、進んでますを使ってかさを測定しようとしている。
		B	測定の意味、普遍単位(L, dL, mL)の意味を理解し、ますを使って身近なもののかさを測定したり、かさの簡単な計算をしたりできる。	かさを比べる活動を通して、普遍単位の必要性や測定の仕方について考えたり説明したりしている。	かさの普遍単位を知り、ますを使ってかさを測定しようとしている。

単元	小単元	観 点 別 学 習 状 況 の 評 価 規 準			
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
学 わ く わ く 算 数 ひ ろ ば	●どんな計算になるのかな(1)	A	加減計算の意味を深く理解し、どんな計算になるか、手際よく演算を決定できる。	加減の意味に基づいて演算を決定し、図と言葉と式をつないで、その特徴に触れながら説明することができる。	問題をよみ、進んでどんな計算になるかを判断しようとしている。
		B	加減計算の意味を理解し、どんな計算になるか、演算を決定できる。	加減の意味に基づいて演算を決定し、図と言葉と式をつないで説明することができる。	問題をよみ、どんな計算になるかを判断しようとしている。
	●算数のじょうけんきゅう	A	線路づくりを通して、算数の自由研究の仕方を深く理解し、いろいろな線路をつくることができる。	線路のつながり方について考え、その特徴に触れながら説明している。	線路の構成に意欲的に取り組み、算数の自由研究をしようとしている。
		B	線路づくりを通して、算数の自由研究の仕方を理解し、教科書にある線路をつくることができる。	線路のつながり方について考えたり説明したりしている。	線路の構成に取り組み、算数の自由研究をしようとしている。
8 た し 算 と ひ き 算 の ひ っ 算 (2)	①たし算	A	繰り上がりのある筆算の仕方を深く理解し、答えが100をこえるたし算が筆算で手際よくできる。	既習のたし算の筆算と同じように繰り上げの仕方を考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	筆算のよさがわかり、進んで答えが100をこえるたし算の筆算をしようとしている。
		B	繰り上がりのある筆算の仕方を理解し、答えが100をこえるたし算が筆算でできる。	既習のたし算の筆算と同じように繰り上げの仕方を考えたり説明したりしている。	筆算のよさに気づき、答えが100をこえるたし算の筆算をしようとしている。
	②ひき算	A	繰り下がりのある筆算の仕方を深く理解し、(百何十何)－(2位数)の計算が筆算で手際よくできる。	既習のひき算の筆算と同じように繰り下げの仕方を考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	進んで(百何十何)－(2位数)の筆算をしようとしている。
		B	繰り下がりのある筆算の仕方を理解し、(百何十何)－(2位数)の計算が筆算でできる。	既習のひき算の筆算と同じように繰り下げの仕方を考えたり説明したりしている。	(百何十何)－(2位数)の筆算をしようとしている。
	③3けたの数のひっ算	A	3位数を含む加減の筆算の仕方を深く理解し、手際よく(3位数)+(2, 1位数), (3位数)－(2, 1位数)の筆算ができる。	既習の筆算をもとに、3位数を含む加減の筆算の仕方を考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	3位数を含む加減の筆算を進んでしようとしている。
		B	3位数を含む加減の筆算の仕方を理解し、(3位数)+(2, 1位数), (3位数)－(2, 1位数)の筆算ができる。	既習の筆算をもとに、3位数を含む加減の筆算の仕方を考えたり説明したりしている。	3位数を含む加減の筆算をしようとしている。
思 図 を つ か つ て 考 え よ う (2)	A	A	順に考えてもまとめて考えても答えが同じになることを深く理解し、それぞれの方法で手際よく答えを求めることができる。	図を使って、まとめて考える仕方での問題の解決方法を考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	ふえたりへったりした量を、進んで図を使って考えたり、式に表したりしようとしている。
		B	順に考えてもまとめて考えても答えが同じになることを理解し、それぞれの方法で答えを求めることができる。	図を使って、まとめて考える仕方での問題の解決方法を考えたり説明したりしている。	ふえたりへったりした量を、図を使って考えたり、式に表したりしようとしている。
9 し き と 計 算	A	A	( )を使った式の計算順序や不等号を使った式の表し方について深く理解し、手際よく( )や不等号を使って式に表したり、式を計算したりすることができる。	( )を使った式の計算順序や不等号を使った式の表し方を考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	進んで( )を使って1つの式に表したり、計算の順序について考えたりしようとしている。
		B	( )を使った式の計算順序や不等号を使った式の表し方について理解し、( )や不等号を使って式に表したり、式を計算したりすることができる。	( )を使った式の計算順序や不等号を使った式の表し方を考えたり、説明したりしている。	( )を使って1つの式に表したり、計算の順序について考えたりしようとしている。

評価の観点と評価規準 2年下

単元	小単元	観点別学習状況の評価規準			
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
10 かけ算(1)	①いくつ分とかけ算	A	かけ算の意味(「何のいくつ分」)を深く理解し、手際よくかけ算の式で表すことができる。	「何のいくつ分」と考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	かけ算に関心を持ち、「何のいくつ分」を進んでかけ算の式に表そうとしている。
		B	かけ算の意味(「何のいくつ分」)を理解して、正しくかけ算の式で表すことができる。	「何のいくつ分」と考えたり説明したりしている。	かけ算に関心を持ち、「何のいくつ分」をかけ算の式に表そうとしている。
	②何ばいとかけ算	A	かけ算の意味(「何の何倍」)を深く理解し、数量を手際よくかけ算の式で表して求めることができる。	「何の何倍」と考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	かけ算に関心を持ち、身のまわりからかけ算の式で表せる数量を進んでみつけて求めようとしている。
		B	かけ算の意味(「何の何倍」)を理解し、数量を正しくかけ算の式で表して求めることができる。	「何の何倍」と考えたり説明したりしている。	かけ算に関心を持ち、身のまわりからかけ算の式で表せる数量をみつけて求めようとしている。
	③かけ算の九九	A	5, 2, 3, 4の段の九九の構成の仕方や唱え方を理解し、確実に覚え、5, 2, 3, 4の段の九九をよどみなく唱え、九九を使って問題を解くことができる。	かける数が1ずつ増えると答えはいくつずつ増えるかに着目して九九の構成の仕方を考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	九九に関心を持ち、進んで5, 2, 3, 4の段の九九をつくって覚えようとしている。
		B	5, 2, 3, 4の段の九九の構成の仕方や唱え方を理解し、正しく覚え、5, 2, 3, 4の段の九九を正しく唱え、九九を使って問題を解くことができる。	かける数が1ずつ増えると答えがいくつずつ増えるかに着目して九九の構成の仕方を考えたり説明したりしている。	九九に関心を持ち、5, 2, 3, 4の段の九九を覚えようとしている。
11 かけ算(2)	①九九づくり	A	6, 7, 8, 9, 1の段の九九の構成の仕方や唱え方を理解し、確実に覚え、6, 7, 8, 9, 1の段の九九をよどみなく唱え、適切に九九を活用して問題を解くことができる。	アレイ図を使って、かける数が1増えると答えがいくつずつ増えるかに着目して九九の構成の仕方を考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	九九のつくり方に関心を持ち、進んで6から9の段の九九をつくって覚えようとしている。
		B	6, 7, 8, 9, 1の段の九九の構成の仕方や唱え方を理解し、正しく覚え、6, 7, 8, 9, 1の段の九九を正しく唱え、九九を活用して問題を解くことができる。	アレイ図を使って、かける数が1増えると答えがいくつずつ増えるかに着目して九九の構成の仕方を考えたり説明したりしている。	九九のつくり方に関心を持ち、6から9の段の九九をつくって覚えようとしている。
	②かけ算をつかったもんだい	A	かけ算やたし算・ひき算の意味を深く理解し、かけ算とたし算・ひき算の混じった問題を、手際よく解くことができる。	演算の意味に基づいて正しく立式し、根拠を考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	かけ算とたし算・ひき算の混じった問題に関心を持ち、進んで問題を解こうとしている。
		B	かけ算やたし算・ひき算の意味を理解し、かけ算とたし算・ひき算の混じった問題を解くことができる。	演算の意味に基づいて正しく立式し、根拠を考えたり説明したりしている。	かけ算とたし算・ひき算の混じった問題に関心を持ち、問題を解こうとしている。
	③図やしきをつかって	A	同じ数のまとまりに着目するとかけ算が使えることを深く理解し、手際よく問題を解くことができる。	同じ数のまとまりに着目して、かけ算を使って考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	考え方の違いや似ているところを進んで見つけようとしている。
		B	同じ数のまとまりに着目するとかけ算が使えることを理解し、問題を解くことができる。	同じ数のまとまりに着目して、かけ算を使って考えたり説明したりしている。	考え方の違いや似ているところを見つけようとしている。

単元	小単元	観 点 別 学 習 状 況 の 評 価 規 準			
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
12 三角形と四角形	①三角形と 四角形	A	三角形や四角形の意味や性質を深く理解し、三角形や四角形の意味に基づいて、手際よくそれらを弁別することができる。	囲んだ直線の数に着目して三角形や四角形の意味を考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	進んで三角形や四角形をつくり、身のまわりからそれらを見つけてようとしている。
		B	三角形や四角形の意味や性質を理解し、三角形や四角形の意味に基づいて、それらを弁別することができる。	囲んだ直線の数に着目して三角形や四角形の意味を考えたり説明したりしている。	三角形や四角形をつくり、身のまわりからみつけてようとしている。
	②長方形と 正方形	A	直角、長方形、正方形、直角三角形の意味や性質を深く理解し、手際よく長方形、正方形、直角三角形をつくったり、かいたりすることができる。	直角や辺の相等に着目して、長方形、正方形、直角三角形の意味や性質を考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	長方形、正方形、直角三角形に関心を持ち、進んで身のまわりからみつけてようとしている。
		B	直角、長方形、正方形、直角三角形の意味や性質を理解し、長方形、正方形、直角三角形をつくったり、かいたりすることができる。	直角や辺の相等に着目して、長方形、正方形、直角三角形の意味や性質を考えたり説明したりしている。	長方形、正方形、直角三角形に関心を持ち、身のまわりからみつけてようとしている。
思 図 を つ か っ て 考 え よ う (2)		A	求大、求小の逆思考の場面を深く理解し、2量の違いに着目し、手際よく逆思考の問題を解くことができる。	2量の違いに着目して逆思考で考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	求大・求小の逆思考の問題に関心を持ち、進んで違いに着目して解こうとしている。
		B	求大、求小の逆思考の場面を理解し、2量の違いに着目し、逆思考の問題を解くことができる。	2量の違いに着目して逆思考で考えたり説明したりしている。	求大・求小の逆思考の問題に関心を持ち、違いに着目して解こうとしている。
学 わ く わ く 算 数 ひ ろ ば	●どんな 計算になるのかな(2)	A	かけ算を用いる場面を深く理解し、問題を読んで正しく立式し、手際よく問題を解決することができる。	数量の関係を読み取り、どんな計算になるかを考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	問題を読んで、どんな計算になるかを考え、その根拠を図式、言葉を使って説明しようとしている。
		B	かけ算を用いる場面を理解し、問題を読んで正しく立式し、問題を解決することができる。	数量の関係を読み取り、どんな計算になるかを考えたり説明したりしている。	問題を読んで、どんな計算になるかを考えようとしている。
	●買えますか？ 買えませんか？	A	100を基準にした見積りの仕方を深く理解し、手際よく100円を基準にした見積りができる。	100円で1つ買えるかどうかを判断し、見積りの仕方を考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	買えるか、買えないかに興味をもち、進んで見積もろうとしている。
		B	100を基準にした見積りの仕方を理解し、100円を基準にした見積りができる。	100円で1つ買えるかどうかを判断し、見積りの仕方を考えたり説明したりしている。	買えるか、買えないかに興味をもち、見積もろうとしている。
13 九九のきまり	①九九の ひょうと きまり	A	かけ算のきまりについて深く理解し、九九表を使って、かけ算のきまりをいろいろみつけることができる。	九九表を多面的な視点からとらえて、かけ算のきまりを考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	九九表に関心を持ち、いろいろなきまりみつけて、進んで活用しようとしている。
		B	かけ算のきまりについて理解し、九九表を使って、かけ算のきまりをみつけることができる。	九九表から、かけ算のきまりを考えたり説明したりしている。	九九表に関心を持ち、きまりを見つけようとしている。

単元	小単元	観 点 別 学 習 状 況 の 評 価 規 準			
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	②九九を 広げて	A	九九のきまりや計算法則の活用の仕方を深く理解し、九九にないかけ算の答えをいろいろに考えて、手際よく求めることができる。	九九にないかけ算の答えを既習の九九、交換法則、たし算などを活用して考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	九九にないかけ算に関心を持ち、進んで答えの求め方を考えようとしている。
		B	九九のきまりや計算法則の活用の仕方を理解し、九九にないかけ算の答えを求めることができる。	九九にないかけ算の答えを既習の九九、交換法則、たし算などを活用して考えたり説明したりしている。	九九にないかけ算に関心を持ち、答えの求め方を考えようとしている。
14 100cmをこえる長さ		A	長さの普遍単位mを知り、mとcmの単位の間関係を深く理解し、長さの見当をつけ、1mものさしを使って手際よく測定することができる。	大きな長さの普遍単位の必要性に気づき、mという単位の意味を考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	1mを超える長さに関心を持ち、進んでいろいろなものの長さを測定しようとしている。
		B	長さの普遍単位mを知り、mとcmの単位の間関係を理解し、長さの見当をつけ、1mものさしを使って、測定することができる。	大きな長さの普遍単位の必要性に気づき、mという単位の意味を考えたり説明したりしている。	1mを超える長さに関心を持ち、長さを測定しようとしている。
15 1000をこえる数		A	十進位取り記数法に基づいて10000までの数の表し方、数系列、大小を深く理解し、手際よく10000までの数をよんだり、表したり、大小を比較したりすることができる。	十進位取り記数法に基づいて、1000をこえる数の表し方や大小を考え、その特徴に触れながら説明している。	10000までの数に関心を持ち、進んで数のよみ方や表し方、数の仕組みを調べようとしている。
		B	十進位取り記数法に基づいて10000までの数の表し方、数系列、大小を理解し、10000までの数をよんだり、表したり、大小を比較したりすることができる。	十進位取り記数法に基づいて、1000をこえる数の表し方や大小を考えたり説明したりしている。	10000までの数に関心を持ち、数をよんだり、表したりしようとしている。
16 はこの形	①はこの形	A	箱の形を構成する頂点、辺、面などの構成要素について深く理解し、観察などの活動を通して、箱の形の面、辺、頂点について手際よく調べることができる。	頂点、辺、面などの図形の構成要素に着目して考え、その特徴に触れながら説明している。	箱の形に関心を持ち、進んでその特徴を調べようとしている。
		B	箱の形を構成する頂点、辺、面などの構成要素について理解し、観察などの活動を通して、箱の形の面、辺、頂点について調べることができる。	頂点、辺、面などの図形の構成要素に着目して考えたり説明したりしている。	箱の形に関心を持ち、その特徴を調べようとしている。
	②はこづくり	A	箱の形の頂点、辺、面などの構成要素のつながりや位置を深く理解し、手際よく面と面、辺と辺をつないで箱の形をつくることができる。	見通しを立てて、箱の頂点、辺、面などの構成要素のつながりや位置を考え、その特徴に触れながら説明している。	進んで箱の形を面や線で構成しようとしている。
		B	箱の形の頂点、辺、面などの構成要素のつながりや位置を理解し、面と面や辺と辺をつないで箱の形をつくることができる。	箱の頂点、辺、面の構成要素のつながりや位置を考えたり説明したりしている。	箱の形を面や線で構成しようとしている。

単元	小単元	観 点 別 学 習 状 況 の 評 価 規 準			
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
17 分数	A	等分の意味とその大きさを表す分数 $\frac{1}{2}$ , $\frac{1}{4}$ の意味を深く理解し、具体物を2等分、4等分した大きさを、手際よく $\frac{1}{2}$ , $\frac{1}{4}$ などの分数で表すことができる。	2等分、4等分した大きさを数値化して表す仕方を考え、そのよさや特徴に触れながら説明している。	等分した大きさの表し方に関心を持ち、進んで分数を用いて表そうとしている。	
		等分の意味とその大きさを表す分数 $\frac{1}{2}$ , $\frac{1}{4}$ の意味を理解し、具体物を2等分、4等分した大きさを $\frac{1}{2}$ , $\frac{1}{4}$ などの分数で表すことができる。	2等分、4等分した大きさを数値化して表す仕方を考えた説明したりしている。	等分した大きさの表し方に関心を持ち、分数を用いて表そうとしている。	
学 わ く わ く 算 数 ひ ろ ば	●何番目	A	集合数と順序数の違いを深く理解し、手際よく図をかいて、問題を解くことができる。	図をかいて、人数や何番目かを考え、その特徴に触れながら説明している。	順序数に関する問題を、進んで図にかいて解こうとしている。
		B	集合数と順序数の違いを理解し、図をみて、問題を解くことができる。	図をみて、人数や何番目かを考えたり説明したりしている。	順序数に関する問題を、図にかいて解こうとしている。
	●よみとる 算数	A	問題を解くために必要な情報の選び方を深く理解し、必要な数量の情報を手際よく選択し、問題を解くことができる。	必要な数量の情報を選択し、数量の関係を考え、その特徴に触れながら説明している。	日記の中の数量に関心を持ち、進んで必要な数量の情報を選択して問題を解こうとしている。
		B	問題を解くために必要な情報の選び方を理解し、必要な数量の情報を選択し、問題を解くことができる。	必要な数量の情報を選択し、数量の関係を考えたり説明したりしている。	日記の中の数量に関心を持ち、必要な数量の情報を選択して問題を解こうとしている。